

保護者の皆様

学校法人三重徳風学園
校長 東 則尚

熱中症予防について

平素は、本学園の学校運営・教育活動に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予想される際に発表される「熱中症警戒アラート」（県内いずれかの観測地点で暑さ指数（WBGT）の最高値が 33 以上になると予想される場合）が7月3日（水）、三重県に発令されました。本学園では、熱中症予防のため、暑さ指数（WBGT）等を活用して熱中症の危険性を適切に判断し、特に体育の授業や運動部活動等の運動を伴う活動の実施の可否等について、下記1のとおり対応することとしていますので、御了知をお願いいたします。

また、本年度から、広域的に過去に例のない危険な暑さ等となり、人の健康に係る重大な被害が生じるおそれが予想される際には、「熱中症特別警戒アラート」（県内すべての観測地点で暑さ指数（WBGT）の最高値が 35 以上になると予想される場合）が発表されることになりましたが、本学園では、「熱中症特別警戒アラート」が発表されたときは、下記2のとおり対応することとしますので、併せて御了知をお願いいたします。

記

1 暑さ指数（WBGT）に基づく対応

活動場所の暑さ指数(WBGT)	気温(参考)	本学園の対応(熱中症予防運動指針)
31 以上	35℃以上	○ <u>運動は中止</u> する。
28 以上 31 未満	31～35℃	○ 激しい運動や体温が上昇しやすい運動は行わず、必要に応じて運動そのものを中止することもある。 ○ 運動をする場合は 10 分～20 分おきに休憩し、水分・塩分を補給する。 ○ 暑さに弱い人(体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人等)は運動を軽減または中止する。
25 以上 28 未満	28～31℃	○ 積極的に休憩して適宜、水分・塩分を補給する。 ○ 激しい運動では、30 分おきくらいに休憩する。
21 以上 25 未満	24～28℃	○ 運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21 未満	24℃未満	○ 適宜、水分・塩分を補給する。

2 「熱中症特別警戒アラート」発表時の対応

- (1) 臨時休業（休校）とし、可能な範囲でオンラインを活用するなどして学習機会の確保に努めます。
- (2) 発表地域内で実施予定の学校外での学習活動は中止とし、延期の可否を検討します。
- (3) 「熱中症特別警戒アラート」が発表されていない場合でも、亀山市で暑さ指数(WBGT)35 以上が予想される場合や、活動場所での実測で暑さ指数(WBGT)35 以上となった場合は、上記(1)(2)に準じた対応を検討します。
- (4) 他団体が主催する大会・行事等については、国等から主催者に対し、適切な熱中症対策が徹底できない場合は中止・延期等を判断すること」が呼びかけられ、実施の可否等の判断は、主催者が参加者の安全確保等を考慮して行うこととなりますが、本学園からも主催者に対して情報収集等に努め、主催者の判断・指示を踏まえて対応することとします。

※ 暑さ指数（WBGT）について

（「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」（環境省・文部科学省）より一部抜粋）

- ・ 暑さ指数（WBGT）は、人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目し、熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標で、単位は気温と同じ℃を用います。
- ・ 暑さ指数（WBGT）は、運動環境や労働環境の指針として有効であると認められ、多くの学校において屋外での体育の授業の実施や休み時間の外遊び、部活動の実施の目安として用いられています。
- ・ 暑さ指数（WBGT）は、暑さ指数（WBGT）計で測定します。温度や湿度などの複数の環境要素を合わせて測定しているため、場所や時間により値が変動します。活動場所ごと、活動時間ごとに測定することが大切です。